●2月定例会号の「市議会だより」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、配布者の負担を軽減するよう「広報しずおか」と合同で発行しています。

しずおか 市議会だより

Shizuoka City Council News

令和2年2月定例会号［No.73］
発行日/2020年（令和2年）6月1日

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html

2月定例会日程

2月10日	2月12日	2月14日 17日	2月21日	3月2日～5日	3月9日～12日	3月19日
本会議	本会議	常任委員会	本会議	本会議	常任委員会	本会議
会期決定 議案上程（1） 説明（1）	質疑（1） 委員会付託（1）	審査（1）	議案上程（1） 委員長報告（1） 討論（1） 表決（1） 議案上程（2） 施政方針	総括質問 委員会付託（2）	審査（2）	議案上程（2） 委員長報告（2） 討論（2） 表決（2） 議案上程（3） 説明（3） 表決（3）

※（1）補正予算議案等　（2）当初予算議案等　（3）追加議案

目　次

2月定例会の日程など …… 1面
2月定例会のあらまし、代表質問など …… 2、3面
個人質問 …… 4、5面
常任委員長報告、陳情審査結果など …… 6面
主な議案、4月臨時会のあらましなど …… 7面
2月定例会提出議案の会派別賛否一覧など …… 8面
広報しずおか（裏面から） …… 1～8面

PRINTED WITH SOY INK
環境にやさしい大豆油を使用しています。

静岡市のココが聞きたい 総括質問 代表

(仮称)認知症ケア推進センターの役割と取組内容

自由民主党 静岡市議会議員団

尾崎 剛司 議員

質問　本市の認知症施策の進捗状況は。また、今後進めていく新たな取組は。

答弁　これまで、認知症サポーター(※1)及び認知症サポート医(※2)の養成や認知症カフェ(※3)の運営等、様々な認知症施策に取り組み、一定の成果が上がっている。

一方、市の調査により、介護をしている家族は相談できる場所や簡単な認知症チェックの機会を求めていることが分かり、より一層の取組強化が必要と考えている。このため、令和2年秋に、認知症支援の拠点となる(仮称)認知症ケア推進センターを葵区七間町に新たに開設する。本センターでは、認知症に悩む人のため、医療や介護の専門職が相談に対応し、必要に応じて専門医療機関や地域包括支援センター等の関係機関につなぐ。さらに企業や大学と連携した共同研究により、効果的な認知症ケアの実践や従事者のスキルアップを図る。また、イベントやセミナーの開催等を通じて、認知症やその予防に関する情報を発信するなど、認知症を総合的に支援する拠点として運営していく。これらの施策により、認知症になっても、本人や家族が希望を持って暮らしていくことができる、認知症にやさしいまちを実現していく。

その他の質問

- 「令和」時代にふさわしいまちづくり
- 財政運営
- 情報発信力強化
- 広域連携
- 内部統制
- 観光誘客・多文化交流
- 地域経済の活性化
- 未来を担う子ども子育て環境
- 暮らしを守るまちづくり　など

静岡市総合戦略とサッカースタジアム構想

志　政　会

後藤 哲朗 議員

質問　静岡市第1期総合戦略(※4)の評価・分析と第2期の取組は。

また、新サッカースタジアム建設をどう進めていくか。

答弁　第1期総合戦略の中で、新幹線通学費貸与事業では、制度利用者の市内就職率が60%以上と、静岡県へのUターン率38%を大きく上回った。また、テレワーカー移住促進事業では、2社が本市に進出した。このような取組により、国が2018年に公表した2025年推計人口は、2013年の公表値と比較して上方修正され、人口減少の緩和はできたものの、増加には至っていない。首都圏への転出超過が地方の人口減少の大きな要因と考えられることから、第2期総合戦略では、若者の地元就職・UIJターンの促進、子育て支援策の充実などの移住定住策に取り組む。

さらに、「交流人口」や「関係人口(※5)」の観点から地域資源であるサッカーを更に磨き上げるため、新たなまちのにぎわいの創出、地域経済の活性化の面からの先進事例調査や施設の在り方検討を重ね、第3次総合計画期間中にスタジアムの構想づくりに着手し、次期計画の中で方向性を示していきたい。

その他の質問

- 市長の政治姿勢
- アセットマネジメント
- 戦略的広報活動の推進
- 地域への愛着の醸成
- 教員の質の向上
- 市内経済の活性化・雇用創出
- コンパクトなまちづくりの推進
- 清水区の医療体制
- 空き家対策
- 甚大な自然災害に対する減災の推進　など

語句説明

(※1) 認知症サポーター
認知症の基礎知識や対応の仕方等を学ぶ認知症サポーター養成講座を受講した者。認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする。

(※2) 認知症サポート医
認知症サポート医養成研修を受講した医師。認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言やその他支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる。

(※3) 認知症カフェ（オレンジカフェ）
認知症の人やその家族が、地域の人、ボランティア、介護・福祉・医療の専門家と、身近な場所で集い、交流を行い、お互いを理解し合う場所。

語句説明

(※4) 静岡市第1期総合戦略
第3次静岡市総合計画に掲げる「2025年に総人口70万人維持」を目指し、人口減少問題に取り組むために、5年間(平成27年度から31年度まで)の取組をまとめたもの。

(※5) 関係人口
移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々。

2月定例会のあらまし

～ 令和2年度当初予算案、新型コロナウイルス感染症対策及び緊急の経済対策に関する決議を可決 ～

令和2年2月10日から3月19日までの39日間にわたって、2月定例会を開催しました。

定例会では、安心・快適な教育環境を実現するため、児童生徒1人1台パソコンの整備に向けた高速ＬＡＮ環境の整備、道路整備事業など社会基盤整備や海洋文化施設整備事業にかかる債務負担行為の変更などを含む令和元年度補正予算のほか、財政規律を堅持しながら、第3次総合計画後期実施計画を更に推進するとともに、SDGsの中長期的な視点を活用し、持続可能な都市経営・行財政運営の実現を目指す令和2年度当初予算など122件の議案を審議し、3件の陳情を審査しました。

2月21日には、田辺市長が施政方針を表明し、歴史文化施設の整備に着手するとともに駿府城公園のフィールドミュージアム化に向けた取組、(仮称)認知症ケア推進センターの開設による認知症支援体制の強化をはじめとする「5大構想」を実現するための施策などの必要な取組に対して適正な予算を確保し、地域経済を好循環させる公共投資を重視する2年度当初予算編成の考え方を示しました。

また、施政方針を受けての代表質問と個人質問では、市長の政治姿勢、2年度予算編成、新清水庁舎建設事業などが議論されました。

最終日には、各常任委員会における議案の審査結果の報告を受け、すべての議案が全会一致または賛成多数で可決されました。

あわせて議員発議による「新型コロナウイルス感染症対策及び緊急の経済対策に関する決議」が全会一致で可決されました。

質問

令和2年3月2日、3日の2日間、代表質問を行いました。
代表質問は、4人以上の所属議員を有する会派が行うことができます。
代表質問を行った4会派の主な質問と答弁の要旨を掲載します。

新年度に向けたSDGsの更なる推進　公明党静岡市議会

山梨 渉 議員

質問　公明党会派が新年度要望の軸として提言した「SDGs（※6）の推進」について、令和元年度の取組の評価は。また、2年度はどう取り組んでいくか。

答弁　元年度、「SDGsマンス」（※7）には速報値で前年より30%以上増えて33,254人の市民等が参加したが、成果指標となるSDGs市民認知度は目標の50%にわずかに届かないと見込まれており、更なる努力が必要と評価している。

このため2年度は、重点普及啓発期間を「マンス」から「シーズン」に拡大するとともに、SDGs宣言（※8）した市内企業・団体等との取組を強化し、3年間の集大成として目標を達成したいと考えている。

また、市と大学等の教育機関との連携・協働は着実に進んでおり、この連携に企業を加えた交流の場等の更なる充実を図り、教育機関との連携・協働をより深めていきたいと考えている。

SDGs推進の取組は、本市の世界における存在感を高め「世界に輝く静岡の実現」につながるものであり、アジアで唯一のSDGsハブ都市の名に恥じないよう、官民連携のもと、力強く進めていく。

その他の質問
- 市長の政治姿勢
- 中期財政見通し
- 総合戦略
- 防災・減災先進都市の構築
- 活力ある地域経済の推進
- 安心・安全な市民生活
- 子育て支援・教育行政
- 共生社会の構築
- 健康長寿のまち
- 医療体制の充実　　など

戦国時代の遺構を露出展示へ　創生静岡

白鳥 実 議員

質問　歴史文化施設建設予定地の旧青葉小学校跡地で発見された戦国時代末期の遺構の展示と活用方法は。

答弁　発見された大地とつながったままの「道と石垣」の遺構を歴史文化施設に取り込み保存し活用するため、展示方法や保存に関して様々な専門家の意見を聴き、その助言に基づき、現在は遺構周辺の空気環境や土壌の成分分析などの環境観察を行っている。

観察状況からは、温度や湿度の変化、カビの発生などで遺構を壊してしまう可能性があり、数年以上にわたって観察を続ける必要があると判断されたため、遺構の保存を第一とし、開館当初は遺構を密閉することなく掘り出されたままの状態で展示することを計画している。

これは、国宝や重要文化財を展示する博物館としては全国初の試みであり、世界的に有名な設計者の建築と遺構を融合させることで施設を特徴づける。

遺構は来館者を迎えるエントランス空間に展示し、目の前に広がる400年前の道で歴史を感じてもらうとともに、当時の雰囲気を体感できるように映像で演出するなど、遺構を最大限に活用していく。

その他の質問
- 令和2年度の予算編成・財政見通しと地方創生への取組
- 防災対策と新清水庁舎
- 観光施策の推進
- 共生のまちづくり
- 保健福祉と医療福祉の充実
- 環境にやさしい静岡市の実現
- 卸売市場の今後と農林水産業の活性化
- 都市基盤整備
- 健全な教育の推進
- 消防力の充実　　など

語句説明

（※6）SDGs（エスディージーズ）
2015年９月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」の略称。この目標達成に向けて、国連加盟国は2030年までに「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むこととしている。

（※7）SDGsマンス（月間）
令和2年（2020年）1月3日から26日までの約1か月間にわたるSDGsの集中的な普及啓発期間。「SDGs推進 TGC しずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION」など、市内各所で官民連携によるイベントを開催した。

（※8）SDGs宣言
市内企業・団体等によるSDGs活動の促進を目的として、市がSDGsの取組に関する宣言を募集し、ホームページ等で広く公表する事業。

令和元年度 静岡市議会活動報告の公開

『令和元年度　静岡市議会活動報告～静岡市議会基本条例に基づく取組～』を市議会HPに公開しました。この報告書は静岡市議会の令和元年度1年間の活動をとりまとめたもので、市民に身近な市議会を目指して、平成28年度から作成・公開しています。

活動報告書では、静岡市議会基本条例の条文に沿って、本会議の議決状況や各委員会の活動状況、各種データ（傍聴者数、議会中継アクセス数等）等、令和元年度の静岡市議会の活動を掲載していますのでご覧ください。

ホームページアドレス：
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006439_00007.html

このほか、議会事務局、各区市政情報コーナーにて閲覧できます。

議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

令和2年2月20日（木）に開催した議員研修会では、県や市、民間企業で構成する清水みなとまちづくり公民連携協議会の会長である前田英寿（まえだ ひでとし）氏を講師に迎え、「清水まちづくりグランドデザインについて」と題して講演していただきました。

講演では、同協議会が策定した、清水みなとまちづくりグランドデザイン策定までの経緯や内容のほか、清水港の特徴や港周辺の歴史などについてお話いただきました。清水港周辺の価値を再認識するとともに、その価値を磨き上げ、人や物の交流を活性化させていくための考え方を学びました。

個人質問

代表質問の後、15人の議員が個人質問を行いました。
質問の一部を抜粋してお知らせします。

子どもをSNS犯罪から守るための取組

質問者　大石　直樹（公明党）

ＳＮＳ犯罪から子どもを守るための学校における取組は。また、家庭や地域に対し、どのような取組をしているか。

答弁　学校は、地域や家庭に比べ、警察や通信事業者等と連携しやすいという強みを生かし、例えば、通信事業者と連携し、犯罪に巻き込まれない方法等の講座を実施している。また、保護者会等で外部講師による講演会を開催し、保護者のＳＮＳに対する意識向上を図っている。

家庭や地域に対しては、青少年健全育成団体等と連携し、ＳＮＳ利用上の注意や家庭でのルールづくりを促すリーフレットの配布、携帯電話販売店に対する保護者へのフィルタリング機能説明の要請、インターネットの安全利用に関する研修会開催費等の助成といった、啓発や研修機会の提供に取り組んでいる。

障がい児保育の進め方

質問者　福地　健（自民党）

今後、静岡市では医療的ケアを必要とする子どもを含めた障がい児保育をどう進めるか。

答弁　多様性への理解を深め、社会性を身につけることにつながるインクルーシブ教育は子どもの成長に重要と考えるため、今後も市立こども園が率先して集団保育が可能な障がいのある子どもを受け入れていく。

また、令和２年度に国の「医療的ケア児保育支援モデル事業」の採択を受け、３年度に市立こども園での事業実施を目指す。事業の着実な実施に向け、①医療的ケアを実施する看護師の確保、②医療的ケアの提供やプライバシー保護に必要なスペースの確保と医療機器の整備、③保育教諭の医療的ケアに関する知識、技術の習得の三つの取組を積極的に進め、医療的ケアを必要とする子どもも等しく保育が受けられることを目指していく。

語句説明

インクルーシブ教育

障がいの有無に関わらず、すべての子どもが個々に必要な援助を受けながら、みんなが同じ場で教育を受けること。

語句説明

医療的ケア児保育支援モデル事業

平成29年度に国（厚生労働省）で創設された事業。保育所等において医療的ケア児の受入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。
対象事業は、
- 自治体が看護師等を雇い上げ保育所等へ派遣
- 保育士が認定特定行為業務従事者となるための研修受講を支援
- 派遣された看護師等を補助し、医療的ケア児の保育を行う保育士を配置　など

水道料金改定の凍結・再検討

質問者　杉本　護（共産党）

地方公営企業法にある公共の福祉の増進について、どのように捉えているか。

また、一般会計からの補助により料金の値上げの凍結や再検討をすべきではないか。

答弁　市民の生活に必要不可欠で代替のきかない水道水を、安全かつ安定的に届け続けることが公共の福祉に寄与するものと考える。

一般会計から水道事業会計に補助できる場合とは、災害に準ずるような事態の時であり、平常時の水道管更新には活用できないと判断している。一方、老朽化した水道管等の更新の先送りは、市民生活に直結するライフラインが危うくなり、大規模災害時はもとより、日常生活への大きな影響が懸念されるため、２年度からの料金改定の凍結や再検討は考えていない。

語句説明

地方公営企業法（抜粋）

《第３条》地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

《第17条の３》地方公共団体は、災害の復旧その他特別の理由により必要がある場合には、一般会計又は他の特別会計から地方公営企業の特別会計に補助をすることができる。

清水消防署に日勤救急隊創設

質問者　加藤　博男（公明党）

本市における日勤救急隊の設置目的と効果はどのようなものか。

答弁　救急出動件数は、全国的に年々増加傾向にあり、本市では日中の時間帯に救急車の需要が多く、特に清水区内で待機する救急車が減少する状況にある。

この状況を改善するため、県内で初となる日中に特化した日勤救急隊を令和２年４月から清水消防署に設置し、運用を開始する。

導入の効果としては、清水区全体の救急体制の強化や現場及び病院到着の時間短縮による救命率の向上が見込まれる。また、設備投資の面で当直勤務用の仮眠室の設置が不要となるほか、子育てや介護などの諸事情を抱える職員に新たな勤務形態を提案することで、ワークライフバランスの面での効果も期待できる。

語句説明

日勤救急隊

隊員の勤務時間を日中に限定した救急隊。静岡市では、原則、平日の８時30分から17時15分までを運用時間とし、通常の救急隊と同様に救命救急士が乗車し、清水区を中心に様々な救急事案に出動する。

暗所視支援眼鏡購入費用助成の可能性

質問者　長島　強（公明党）

障がいのある方の日常生活上の困難を改善し、社会生活を支援するため、各種生活用具の購入費用を助成する日常生活用具給付事業の助成対象に暗所視支援眼鏡を含めている自治体があるが、本市の考えは。

答弁　暗所視支援眼鏡は視覚に障がいのある方への支援に一定の効果があるものと認識している。しかし、全国的に給付事業の対象としている自治体は少なく、先行自治体でも対象としたのはここ１年以内であるため、支援用具としての安全性等を確認していくことが必要である。また、給付対象とするためには、対象者の範囲や医師の診断書の要否など、給付条件も定めなければならないことから、先行する自治体の状況を参考にするとともに、他都市の動向も注視しながら検討していきたいと考えている。

語句説明

暗所視支援眼鏡（あんしょししえんがんきょう）

夜間や暗い場所で見えにくい方に、より明るい視界を提供することを目的に開発された眼鏡型機器で、小型カメラでとらえた映像を明るい状態で使用者の目の前のディスプレイに投影することで、夜間や暗い場所で明るく見えるようにするほか、光が強い場所では遮光する機能を持つ。

語句説明

債務負担行為

将来にわたり債務を負担する行為（契約等）をする場合に、その限度額を定め、議会の議決によって設定するもの。

新清水庁舎整備関連事業費

質問者　風間　重樹（創生静岡）

清水庁舎移転に係る債務負担行為に含まれない関連事業費にはどのようなものがあるか。

答弁　新清水庁舎建設基本構想において位置づけている関連事業費のうち、初期投資として、設計監理費、現清水庁舎解体工事費及びシステム移転費を約16億円、運転資金として、庁舎建物の保守点検・清掃・警備の維持管理費、修繕更新費及び光熱水費を年間約１億4000万円見込んでいる。

このうちの一部は、令和元年９月定例会で議決された債務負担行為には含まれていない。

システム移転費については新庁舎の詳細設計時に、現庁舎解体工事費については解体の時期に合わせて予算化し、また、光熱水費及び警備費の一部については、建物の詳細設計や現庁舎の実績も参考に具体的に算定し、庁舎の供用開始時期に合わせて予算化していく。

清水庁舎移転計画見直し

質問者　内田　隆典（共産党）

議員発議による住民投票条例の提案、市民による住民投票を求める署名活動の開始、入札参加なしによる整備事業者の再募集を受けて、庁舎移転計画を見直す考えはあるか。

答弁　新清水庁舎の整備は、有識者や市民委員で組織する新清水庁舎建設検討委員会での議論や市民意見の聴取を経て、新清水庁舎建設基本構想及び基本計画を策定し、事業を推進してきた。そして、令和元年９月定例会では、新清水庁舎整備に係る事業予算と「静岡市区の設置等に関する条例等の一部改正」について議決されている。

なお、整備事業者の再募集に際しても、庁舎、駐車場、民間施設の三つで一体的ににぎわいを生み出していく方針であり、基本構想及び基本計画を変更する考えはない。このことから、庁舎移転計画を見直す予定はない。

会派名
自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
公明党＝公明党静岡市議会
共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
緑の党＝緑の党グリーンズジャパン

「ふるさと応援寄附金等によるＮＰＯ等指定寄附事業」の意義

質問者　池谷　大輔（自民党）

ふるさと納税制度の趣旨をふまえた、ふるさと応援寄附金等によるＮＰＯ等指定寄附事業に取り組む意義は。

答弁　本事業は、ふるさと寄附金の使い道を、地域貢献に取り組むＮＰＯ等の活動にも広げることで、ＮＰＯ等が抱える課題を解決し、その活動を活性化できる仕組みで、全国的にも画期的な取組である。ふるさと納税制度の「一人ひとりの貢献が地方を変え、より良い未来をつくる」という趣旨にも合致しており、ＮＰＯ等の資金調達支援だけでなく、ふるさと納税制度の広報力により、活動の魅力が広く社会に知られ、ＮＰＯ等の人材確保にもつながることを期待している。本事業を通じて、地域貢献に取り組むＮＰＯ等を力強く後押しし、市民主体のまちづくりを実現する起爆剤としたい。

自治会・町内会の活動支援

質問者　井上　智仁（公明党）

自治会活動に対する課題をどう捉え、どのような支援を行っているか。

答弁　課題は少子高齢化や人口減少等による担い手不足や多様化・複雑化している問題、例えばマンション等によるコミュニティの希薄化や在住外国人との共生等があると考える。

課題を踏まえた支援としては、地域課題の解決に取り組む講座である地域デザインカレッジを開講し、まちづくりを担う人材養成に取り組んでおり、修了生の中には、自治会と連携し、高齢者の外出や家具の移動等日常生活をサポートする「ちょこっと・ボランティア」の活動を始めている方もいる。加えて様々な地域課題の解決に取り組む好事例を発表する「しずおか自治取組発表会」を開催し、学び合いと情報共有の機会を提供している。今後も新たな支援策等を検討していく。

語句説明

静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

中央新幹線建設事業が環境に与える影響を継続的に確認するとともに、環境保全措置について助言し、環境影響の低減を図る目的で県が設置する、各環境分野の学識経験者と地元代表者からなる会議。

語句説明

静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

中央新幹線建設事業により生ずる環境等に関する影響について専門的な見地から調査審議する目的で市が設置する会議。

語句説明

ふるさと応援寄附金等によるＮＰＯ等指定寄附事業

市内に事務所があるＮＰＯ法人や学（地）区連合自治組織等を対象に、地域活動にかかる費用を支援するための財源として寄附金を募集するもの。

語句説明

廃棄物減量等推進員

ごみの減量化及び資源化並びに環境美化について、地域と連携し、市民の廃棄物処理に対する意識の高揚を図ることを目的とし、自治会・町内会から推薦を受け、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき市から委嘱された者。

廃棄物減量等推進員制度の推進

質問者　井上　恒彌（自民党）

廃棄物減量等推進員の活動を進める上での課題と今後の取組は。

答弁　新たに推進員となった方がどう活動すればよいか分からないこと等により生じる推進員ごとの活動の差の解消と、推進員が推薦されていない世帯数の少ない自治会等における市と市民のパイプ役の確保が課題である。

そこで、推進員ごとの活動の差を解消するため、活動報告会や勉強会を通じ活動事例の紹介や意見交換などを行っている。しかし、地域が抱える課題は様々であるため、今後は新たに就任された方に、市職員が地域の実情にあった助言をすることで活動を支援していく。また、推進員の推薦がない自治会等に対しては、職員が直接会長宅を訪問し、制度の趣旨や活動内容を説明し、推進員を推薦していただけるよう引き続き働きかけていく。

リニア建設が自然環境に及ぼす影響への対応

質問者　安竹　信男（創生静岡）

トンネル建設による大井川の流量の減少が上流域の自然環境に及ぼす影響について、これまでの市の対応と今後の対応はどうか。

答弁　平成26年度から動植物等の環境調査を毎年実施しているほか、トンネル掘削による流量変化のシミュレーションを２回行った。その結果、椹島（さわらじま）より上流部の流量減少と、これに伴う生態系への影響が改めて危惧されたため、トンネル湧水を可能な限り上流域へ戻すようＪＲ東海に求めてきた。

現在、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議で水量等の議論がなされており、ＪＲ東海は、トンネル湧水の戻し方の詳細な計画を本市に示すことができていない。そのため、今後の会議等の議論を踏まえ、静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会委員の意見を聞きながら、ＪＲ東海に必要な対応を求めていく。

静岡大学将来構想の協議

質問者　松谷　清（緑の党）

先に設置した静岡大学将来構想協議会の設置要項では、現在大学側が検討している法人統合や大学再編等について協議会としてゼロベースで議論を行うとされているが、これは静岡大学における平成31年３月の統合再編の意思決定を転換する可能性も含めたものか。

また、設置要項には必要に応じてその他の関係者にも協力を求めるとあるが、統合再編の相手方である浜松医科大学等の関係者から意見聴取を行うことはあるか。

答弁　第１回協議会での静岡大学副学長・丹沢委員からの「学長が説明した大学当局案をベースにすることなく、協議会で出された意見を反映させていきたい」との発言のとおりと理解している。また、関係者からの意見聴取が必要となった場合は、協議会設置要項の定めに従って対応していく。

県道清水富士宮線の整備状況

質問者　稲葉　寛之（志政会）

中部横断自動車道へのアクセス道路となる県道清水富士宮線の整備状況は。

答弁　当該道路は、清水港と中部横断自動車道を結ぶアクセス道路として、国道１号静清バイパスから清水いはらインターチェンジまでの3.8km区間の整備を実施している。

平成25年度から順次部分供用を開始し、令和２年内には、国道１号静清バイパスから庵原球場東側いほはら橋交差点までの２kmを供用する見込みで、この区間の渋滞解消等に地域の皆さんからも期待が寄せられている。

いほはら橋交差点から清水いはらインターチェンジまでの残りの1.8kmについては、４年度の供用を見込んでいる。全線が開通することで、清水港と甲信越地方とのネットワークが大幅に強化され、交流拡大、物流強化など整備に伴う大きな効果が期待される。

ＪＲ静岡駅周辺の整備

質問者　寺尾　昭（共産党）

ＪＲ静岡駅、駅前広場内の交通混雑等、現状の交通環境に対する課題をどのように捉え、対応するのか。

答弁　北口駅前広場の課題のうち、特に大きな課題である送迎車両とタクシーが集中することで生じる交通混雑の解消には、現在、混雑のピーク時間の実態などを調査・分析するとともに、交通管理者との協議を進めており、今後は駅前広場内の車線の見直しなど、交通環境の改善に向け取り組んでいく。

また、平成５年度に暫定整備した南口駅前広場は、北口と同様の交通混雑の解消に加え、観光バスの停車スペース不足への対応といった交通手段の接続機能の強化が大きな課題であり、駅前広場の立体化や拡張の可能性について、関係地権者や関係機関と協議・調整を行いながら機能の充実に向けて検討していく。

語句説明

静岡大学将来構想協議会

地域の課題に協働して取り組み、その成果を共有することを通して、静岡大学の次の時代の教育研究と静岡市のまちづくりに活かし、大学と地域の発展向上につなげるため、静岡大学と静岡市が共同して設置した協議会。

語句説明

Park-PFI制度

平成29年の都市公園法改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」。

公園の新しい活用と誰でも利用しやすい公園の整備

質問者　佐藤　成子（志政会）

民間事業者のアイデアを活用するPark-PFI制度の導入等、公園の新しい活用とは。また、ＳＤＧｓにも合致する障がい者等誰でも利用しやすい公園の整備状況は。

答弁　公園の新しい活用として、民間活力の導入や公園の活用の幅を広げるため、平成30年４月に静岡市都市公園条例を改正し、新富町公園に放課後児童クラブ、田町公園にこども園の設置を許可して、子育て世代の公園利用促進を図った。令和２年度には城北公園にPark-PFI制度を導入し、公園内に駐車場完備のカフェ等、憩いやにぎわい創出が期待できる施設を設置していく。

また、誰でも利用しやすい公園となるよう、新規の公園の整備だけでなく、段差のない園路や多目的トイレに改修するなど、バリアフリーに配慮した公園づくりを進めている。

田町公園に設置されたこども園

バリアフリーに配慮したトイレ

主な議案　～2月定例会の議案をピックアップ～

議案の一覧、予算の概要はこちらからご覧ください▶　◀議案一覧　◀補正予算の概要　◀当初予算の概要

令和元年度補正予算

予算規模

一般会計　約70億3,000万円増
全会計　約87億9,000万円増

主な内容

◇教育環境の充実（パソコン整備に向けた高速LAN環境の整備、エアコン設置　など）
◇社会基盤整備（道路、港湾、林業整備　など）
◇5大構想の推進（駿府城エリア整備　など）
◇交流人口拡大（大浜公園再整備事業　など）

PICK UP!　海洋文化施設整備事業にかかる債務負担行為の変更

施設の全体スケジュールを見直し、供用期間が11か月短くなったことによる運営経費の削減、及び事業者提案時の入館料収入と実際の入館料収入に乖離があった場合に一定の割合で市と事業者がリスクを分担する仕組みを導入したことによる金額変更です。
※債務負担行為:5面の語句説明を参照

令和2年度当初予算～5大構想に重点配分～

予算規模

一般会計　3,253億円（対前年度　73億円増　+2.3%）
全会計　6,423億円（対前年度　198億円増　+3.2%）　過去最大の予算規模

予算編成のポイント

◇本市の最重要課題である第3次総合計画の5大構想を実現するための施策に予算を重点配分
◇将来にわたる地域の活性化に向け、人口活力の維持、持続可能なまちの実現を図る取組を予算に反映
◇安心・安全な社会の構築を目指し、教育・子育ての充実、災害対応力の強化などの取組を予算に反映

歴史文化の拠点づくり　7.7億円
・駿府城跡天守台遺構のフィールドミュージアム化推進　など

「健康長寿のまち」の推進　14.9億円
・（仮称）認知症ケア推進センターの開設による総合支援体制の構築　など

海洋文化の拠点づくり　8.5億円
・清水港への大型客船の誘致と寄港歓迎　など

「まちは劇場」の推進　8.2億円
・春夏秋冬フェスティバルが楽しめるまちの実現　など

教育文化の拠点づくり　1.4億円
・駿河学びのまちづくりグランドデザイン（東静岡・草薙地区）策定　など

令和2年度の主な新規・拡充事業　PICK UP!

地域経済の活性化
◇ふるさと応援寄附金を活用したNPO等の活動支援　5,142万円

持続可能なまちの実現
◇様々な交通手段が連携した静岡型MaaSの実証実験ほか　6,295万円

安心・安全な社会の構築
◇静岡市型35人学級編制の完全実施　1億2,000万円

災害対応力の強化
◇災害情報を一元的に共有・発信するシステムの構築　4,800万円

玉川小学校と玉川中学校 令和2年4月 小中一貫校に

○静岡市立学校設置条例の一部改正について
玉川小学校及び玉川中学校を小中一貫校として運営することに伴い、中学校の位置を変更するため、所要の改正をするものです。

「高齢者・子ども料金」でスポーツ施設を使いやすく

○静岡市体育館条例の一部改正について　ほか
公の施設に関する使用料の設定基準に基づき、施設の使用料及び利用料金の限度額を改めるとともに、70歳以上の者の料金の新設など、所要の改正をするものです。

―Keyword―
公の施設に関する使用料の設定基準
使用料を設定する際に「受益者負担の原則」と「公平性・公正性の確保」の観点から合理的かつ適正な設定をするための統一的な基準で、定期的に見直しています。

4月臨時会のあらまし
～新型コロナウイルス感染症への緊急対策について～

令和2年4月臨時会を4月17日に開催しました。会期は1日で、同日に閉会しました。
臨時会では、新型コロナウイルス感染症の緊急対策についての予算を計上した令和2年度静岡市一般会計補正予算案を含む3件の議案を承認または可決しました。

4月臨時会で審議した市長提出議案3件の審議結果は、次のとおりです。

件名		会派名：自民党	志政会	公明党	創生静岡	共産党	緑の党	議決結果
元年度補正予算	専決処分の報告及びその承認について（令和元年度静岡市一般会計補正予算（第8号））	○	○	○	○	○	○	承認
2年度補正予算	令和2年度静岡市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	静岡市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決

自民党=自由民主党静岡市議会議員団（24人）、志政会（7人）、公明党=公明党静岡市議会（6人）、創生静岡（4人）、共産党=日本共産党静岡市議会議員団（3人）、緑の党=緑の党グリーンズジャパン（1人）

◀議案一覧　◀補正予算の概要

当日の会議では、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、出席議員を議場と別室の2か所に分け、議席の間隔を空けて審議を行いました。別室の議員はモニター越しに審議等を視聴しました。

6月定例会のお知らせ

6月定例会は6月16日から始まります。日程は次のとおりです。　**会期28日間**

開催日	会議名	場所
6月4日（木）	議会運営委員会	第2委員会室
9日（火）	議案説明会	議場
6月16日（火）	本会議	議場
23日（火）	議会運営委員会	第2委員会室
29日（月）	本会議（総括質問）	議場
30日（火）	本会議（総括質問）	議場
7月1日（水）	本会議（総括質問）	議場
3日（金）	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
6日（月）	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
10日（金）	議会運営委員会	第2委員会室
13日（月）	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。
（最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。）
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館3階にあります。

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

【2月21日報告】

*＊**マイキーID設定支援事業**について、この事業の前提となるマイナンバーカードの普及が伸び悩んでいるため、市民の理解を促進する広報や、高齢者等の情報機器の取り扱いに不慣れな方を取り残さない仕組みづくりを求める。

＊**防災施設整備事業費**について、駿河区西島の津波避難施設の完成が遅れないようにすること。また、一部の津波避難施設のフェンス等が施錠されているが、地元住民等と協議し、避難の際には確実に使えるようにすること。

【3月19日報告】

＊**令和2年度一般会計予算**に関して、引き続き健全な財政運営に取り組むよう、行財政改革やアセットマネジメントの推進、民間活力の活用による歳出の削減や、市税等の収納率向上などによる自主財源の確保に努めること。

＊**アリーナ誘致事業**について、本市の長年の懸案事項であり、過去の経緯を重く受け止め、検討にとどまることなく、事業を大胆に前に進めるよう強く求める。

＊**税務管理事業**について、市政運営の根幹を支えており、政令指定都市の中でも上位の収納率を高く評価する。今後、さらに高い目標を持ち、適正な課税や人材育成の充実、納税者の理解促進などの一層の取組を求める。

＊**新清水庁舎整備事業**について、計画と現状との相違に対する危機意識を強く持つことや、新庁舎計画地内への民間収益施設の誘致について、令和2年9月定例会までに具体的な方針を示すこと等を求める附帯決議案が提出され、賛成多数で総務委員会の決議とすることに決定した。

市民環境教育委員会

【2月21日報告】

＊**小中学校通信ネットワーク整備事業**では、学校や地域間で差が生じないようパソコンを配備すること。また、授業にいかすことのできるよう、教員研修の実施や外部人材を活用したICT推進員の確保など、指導体制の充実に取り組むこと。

＊**飯田生涯学習交流館**建設は地域の方々が待ち望んでいる施設であるため、早期の完成を目指すこと。

【3月19日報告】

＊自治会・町内会関係費助成に関し、**自治会活動実態調査**が自治会活動の更なる負担軽減にいかせるよう期待する。また、役員の高齢化など自治会活動は厳しい状況にあるため、行政が依頼する事務事業も軽減できるよう総合的に検討すること。

＊各区役所の取組を高く評価する。今後は、例えば葵区では、葵トラベラーの参加者が地域住民とより一層交流を図ることができるような、**単なるにぎわいづくりに終わらせない工夫**の検討や、**3区で連携した情報発信や事業展開**を検討すること。

＊浄化槽設置整備事業費助成について、河川の環境改善のため、**合併処理浄化槽への切り替えを促進**すること。そして、保守点検や清掃、特に法令で定められている水質の定期検査の実施率向上に向け、数値目標を設定して進めること。

＊**静岡市型35人学級編制の完全実施**は、きめ細やかな指導につながることから、対応に感謝する。あわせて、教職員等の人材確保に努めるとともに、教職員の健康管理にも引き続き取り組むこと。

観光文化経済委員会

【2月21日報告】

＊**しずおか中部連携中枢都市圏圏域経済拡大支援業務**は5市2町の連携事業として各市町の意見を酌みながら、本市がリーダーシップを発揮し、大きな効果を生み出すこと。

＊**海洋文化施設整備事業**は、スケジュールを遵守しながら事業者が参画しやすい体制とし、地域の発展につながるよう官民が連携して着実に進めるとともに、水族館と博物館が融合した他にない魅力を積極的にPRしていくこと。

【3月19日報告】

＊**歴史文化施設建設事業**に関して、整備方針が決まった市民文化会館など駿府城公園の周辺施設を含むエリア一体で、魅力ある歴史文化の拠点を作り上げていくため、他部局と連携し広い視点で取り組むこと。

＊**三保松原関連事業**については、世界遺産の景観維持のほか、地元住民の生活を支える防風林でもあるので、松原の保全や再生事業の効果を検証しながら、引き続き取り組むこと。

＊**海洋文化の拠点づくり**については、清水みなとまちづくりグランドデザインの個別のリーディングプロジェクトをより具体的に進めるとともに、旅客施設の整備については県との連携を深めて情報収集を行い、市で対応すべき取組を研究すること。

＊**IT導入に向けた生産性向上支援**について、本市は中小企業や小規模企業が大半を占め、人手不足が喫緊の課題であるため、静岡市中小企業・小規模企業振興条例の趣旨を踏まえ、事業者に寄り添った支援をすること。

企業消防委員会

【2月21日報告】

＊**千代田消防署大規模改修**について、繰り越ししても最終的な完了時期の変更はないとのことだが、計画の変更により千代田消防署管内の消防力や市民サービスが低下しないよう努力すること。

＊**水道事業会計**の**災害支援費**に関しては、引き続き自治体相互の連携強化を図り、有事の際には迅速に対応出来るよう、危機管理能力の向上に努めること。

【3月19日報告】

＊令和2年6月からの**水道料金改定**に関して、市民の理解を求めるため、これまで取り組んできた経費削減策や経営努力を交えながら丁寧に説明するとともに、引き続き投資の最適化や経営の効率化を図り、将来にわたり市民負担の軽減が図れるよう努めること。

＊**上下水道のトラブル**には、今まで以上にスピード感を持って対応するなど、更なる**サービス向上**を求める。

＊**新型コロナウイルス**の感染者や感染の疑いのある患者の**救急搬送**については、保健所等との情報共有や連携の強化を図ることで、2次感染防止策を徹底し、求められる救急要請に支障が出ないようにすること。

＊大規模災害を含む災害活動のみを任務とする**機能別団員制度**は、既存消防団員の負担軽減や、地域防災力の向上も期待できるため、本制度の周知、徹底に努め、団員獲得に努めること。

厚生委員会

【2月21日報告】

＊**清水病院**について、地域の基幹病院として患者の信頼を高め、医療需要を的確に把握し、その役割を明確にしてほしい。また、経営改善を図りつつ、多額の補助金を投入して経営を支えていることに対し説明責任を果たすこと。

＊**保育補助者雇上（やといあげ）強化事業費助成**について、国と市による全額負担で保育補助者を雇用することができる制度なので、制度のPRに努め、活用する事業者の増加に取り組むこと。

【3月19日報告】

＊**新型コロナウイルス感染症対策**では、市民の不安をなくすため正しい情報が伝わるよう努力すること。

＊**生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業**について、駿河共生地区の地域・多世代交流型住宅整備などの概要が見えてきたので、葵区中心市街地の葵おまち地区とあわせ、生涯活躍のまち静岡を推進していくこと。

＊**児童クラブ運営事業**について、待機児童解消に向けて施設の新設、拡充などに取り組んでいることは評価する。また、放課後児童クラブ支援員の処遇改善や、現場スタッフの声をくみ取り、その負担軽減も図っていくこと。

＊**母子健康診査及び訪問指導事業**は、人口減少対策の一環として期待しているので、母親が産後の母体の回復や育児で悩まないよう保健師等による切れ目のない手厚い支援などの施策を実施すること。

都市建設委員会

【2月21日報告】

＊**大浜公園PFIアドバイザリー業務経費**について、大浜公園は、多くの入場者が見込まれ、新たな地域のにぎわい拠点となり得るため、プールを含めた施設の有効活用を図るとともに、健全な経営の構築を図ること。また、公園の設計における津波避難対策について研究すること。

＊**北街道線魅力空間創出事業**について、北街道線は、駿府城公園とその周辺の市街地を結びつける重要な路線であり、大きな整備効果が期待できるため、一日も早く整備に着手すること。

【3月19日報告】

＊**静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト推進事業**について、MaaSの導入に向けては、誰もが利用しやすい仕組みで、移動で困ることがないように積極的にチャレンジすること。

＊清水駅みなと口にある**清水駅東口公園のモニュメント**は、JR清水駅周辺ににぎわいをもたらす重要な作品であるので、移設されても清水区の発展を願う思いを継承し、まちと港をつなぐ清水区のシンボルとして、これまで以上ににぎわい創出に活用すること。

＊道路整備では、地域との合意形成を図り、事業に着手した努力やスピーディーな対応に感謝する。事業全般について、**災害対策を重視し、着実に推進**すること。また、市民の安心・安全のため、スピード感のある対応や予防保全に努めること。

＊公共施設の統廃合や維持管理に民間活力を積極的に導入し、長寿命化などの**アセットマネジメントを推進**すること。

＊SDGsを推進する自治体として、**気候変動による災害へ積極的に対応**すること。

陳情審査結果

3件の陳情が総務・都市建設委員会でそれぞれ審査され、審査結果は次のとおりです。

件　名	結　果
公共施設におけるピロティー形式のメリット・デメリットについて検証を望む陳情	不採択
津波・洪水・台風対策としてシェルターを危険地域の公園や空き地に点在させて設置する事を希望する陳情	不採択
SDGsの和訳を「持続可能な開発目標」から「持続再生可能な開発目標」に訂正する事を求める陳情	不採択

お知らせ

視覚障がいのある方のための「声の市議会だより（デイジーCD版、カセットテープ版）」と「市議会だより点字版」を作成し、ご希望の方に郵送しています。

ご希望の方は、電話で調査法制課（☎221－1481）までお問い合わせください。

※デイジーCD版

音声をCDに録音したもので、専用の再生機やパソコンで再生できます。

2月定例会提出議案の会派別賛否一覧

2月定例会で審議した市長提出議案121件、議員提出議案1件の審議結果は、次のとおりです。（○=賛成、×=反対）

	件名	会派名 自民党	志政会	公明党	創生静岡	共産党	緑の党	議決結果
元年度補正予算	令和元年度静岡市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	×	×	可決
	令和元年度静岡市電気事業経営記念基金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市土地区画整理清算金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市公債管理事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市競輪事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市駐車場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市介護保険事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市介護保険サービス会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度静岡市下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
2年度当初予算	令和2年度静岡市一般会計予算	○	○	○	×	×	×	可決
	令和2年度静岡市電気事業経営記念基金会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市土地区画整理清算金会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市公債管理事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市競輪事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	×	×	可決
	令和2年度静岡市農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市駐車場事業会計予算	○	○	○	○	○	×	可決
	令和2年度静岡市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市介護保険サービス会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市中央卸売市場事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市後期高齢者医療事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市立静岡病院事業債管理事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	×	可決
	令和2年度静岡市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度静岡市下水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	可決
条例の制定	静岡市まちづくり活動支援基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市動物愛護管理員の設置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市県営土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市簡易水道条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
条例の改正	静岡市印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	可決
	静岡市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市改良住宅管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市中央卸売市場業務条例の全部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	可決
	静岡市職員の分限に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市職員退職手当支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決

	件名	会派名 自民党	志政会	公明党	創生静岡	共産党	緑の党	議決結果
条例の改正	静岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市総合運動場条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市体育館条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市城北運動場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水ナショナルトレーニングセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市スポーツ広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水駅東口クライミング場条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市キャンプ場条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市多目的スポーツグラウンド条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水庵原球場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市コミュニティセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市テニス広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市地域福祉共生センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市食品衛生法の施行等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市立看護専門学校条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市霊柩自動車利用条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市ふれあい健康増進館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市漁港管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市有度山総合公園運動施設条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	可決
	静岡市営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市立学校設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市図書館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市自然の家条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
条例の廃止	静岡市心身障害児福祉センター「いこいの家」の通園訓練に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡都市計画事業番町西土地区画整理事業施行条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定	静岡市美術館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市地域福祉交流プラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市心身障害者ケアセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市支援センターなごやかの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市沼上資源循環学習プラザ及び静岡市西ケ谷資源循環体験プラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市北部勤労者福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市口坂本温泉浴場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市日影沢親水園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市南アルプス赤石温泉白樺荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水森林公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市用宗漁港施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市清水駅東口駐車場及び静岡市清水駅東口自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	二級河川の指定に関する意見について	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の廃止について(庵原町1号線ほか2路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の変更について(田町三丁目3号線ほか1路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について(北久保田5号線ほか7路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	可決
	町の新設について	○	○	○	○	○	○	可決
	字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	賛成
	静岡市副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
	静岡市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
	静岡市教育委員会委員の任命について(2件)	○	○	○	○	○	○	同意
	静岡市土地利用審査会委員の任命について(6件)	○	○	○	○	○	○	同意
	静岡県公安委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	新型コロナウイルス感染症対策及び緊急の経済対策に関する決議	○	○	○	○	○	○	可決

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(24人)、志政会(7人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、創生静岡(4人)
共産党=日本共産党静岡市議会議員団(3人)、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)

市議会だより表紙の写真

「風格」

大御所家康時代の天守台。底部西辺約68m×北辺約61mの巨大な天守台が聳(そび)え立つ姿、その高さも眩(まぶ)しく、陽射しが差し込む様に圧倒された。

地中からタイムカプセルの様に現したこの姿、後世に大事に残したい。

撮影地　駿府城公園内
撮影者　萩原和幸 氏(日本写真家協会会員)

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

静岡市議会事務局　〒420－8602　静岡市葵区追手町5番1号
議会総務課　☎221－1158
議　事　課　☎221－1159
調査法制課（編集元）　☎221－1481
FAX 251－9213

静岡市議会ホームページアドレス
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html　静岡市議会　検索